



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA An Evening of Peace Concert

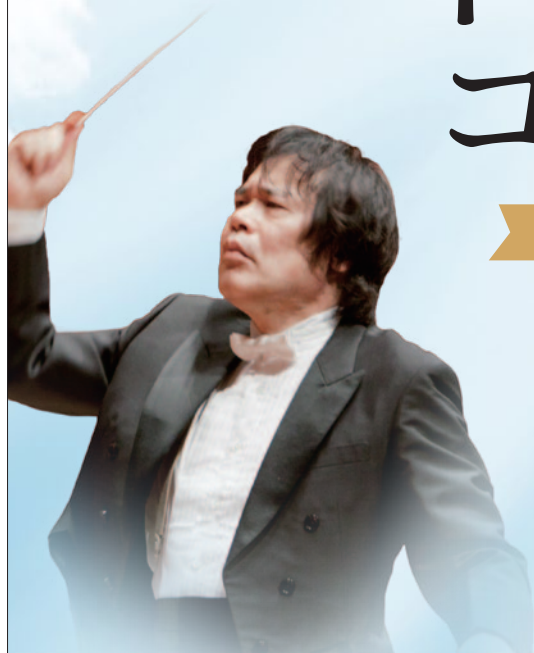


下野竜也音楽総監督就任  
～広響、新時代～

広島交響楽団

# 「平和の夕べ」 コンサート

Stage 2 平和を讃えよ  
〈レジェンド、クレメールと共に〉



指揮  
徳永 二男  
Conductor Tsugio Tokunaga  
©K.Miura



ヴァイオリン  
ギドン・クレメール  
Violin Gidon Kremer  
©Horst Helmut Schmeck



ピアノ  
リュカ・ドウバルグ  
Piano Lucas Debargue  
©Felix Broede / Sony Classical

2018  
2.12 | 月・休 | 15:00開演  
(14:00開場)  
広島文化学園HBGホール

Mon. (Holiday) Feb 12, 2018 Start 15:00 (Open 14:00)  
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

◆チケット発売日/2017年10月16日(月)  
◆チケット料金/S:7,000円 A:6,000円 (学生:3,000円)

◆プレイガイド  
エディオン広島本店、福屋八丁堀本店、福屋広島駅前店、アルパーク天満屋、広島アーツ楽器、  
ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場、チケットぴあ(Pコード:318-944)、  
ローソンチケット(Lコード:61955)、中国新聞社読者広報部、  
中国新聞販売所(取り寄せ)、広響事務局(学生は広響事務局のみ販売)

◆お問い合わせ  
広響事務局 TEL.082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp>

Program  
ベートーヴェン  
弦楽四重奏曲第11番へ短調 Op.95「セリオーソ」\*  
(マーラー編曲弦楽合奏版)  
Beethoven (arr.Mahler)  
String Quartet No.11 in F minor Op.95 "Serioso"  
ベートーヴェン  
ピアノ協奏曲第2番変ロ長調 Op.19\*\*  
Beethoven: Piano Concerto No.2 in B-flat major Op.19  
シューマン  
ヴァイオリン協奏曲ニ短調 WoO.23\*\*  
Schumann: Violin Concerto in D minor WoO.23

\*当初のプログラムから曲目が変更になりました。

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社



助成/

文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術創造活動活性化事業)

協賛/



NPO法人  
音楽は平和を運ぶ

\*クレメラータ・バルティカのみ演奏。 \*\*徳永二男 指揮、広響とクレメラータ・バルティカの合同演奏。

共演 クレメラータ・バルティカ  
Kremerata Baltica ©Alberts Linarts





# 「平和の夕べ」コンサート Stage 2

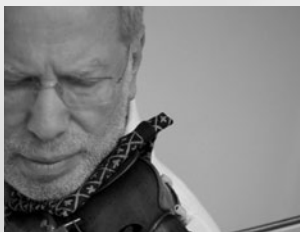
## 平和を讃えよ〈レジェンド、クレメールと共に〉

今年度は特別に「平和の夕べ」コンサートに、第二のステージが用意された。ヴァイオリン界のレジェンド、ギドン・クレメールとの共演が実現したのだ。2年前の被爆70年で広響と共演し、その後「広響平和音楽大使」に就いたマルタ・アルゲリッチからの推薦もあった。

加えて嬉しいことに、クレメールに影響を与えるほどの才能を誇る驚異のピアニスト「リュカ・ドゥバルグ」と、クレメール自身がバルト三国から優秀な演奏家を集めて結成したスーパー・チェンバー・オーケストラ「クレメラータ・バルティカ」と広響との共演が実現する。「セリオソ」のマーラー編曲の弦楽合奏版はクレメラータ・バルティカのみでの演奏。

続くピアノ協奏曲第2番とシューマンのヴァイオリン協奏曲は、広響とクレメラータ・バルティカの共演。

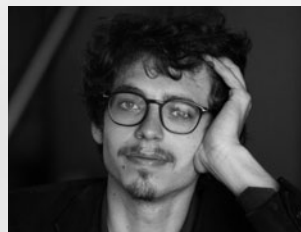
指揮は徳永二男。日本と世界、ヴァイオリン界のレジェンド二人が相見えるのも楽しみだ。



ヴァイオリン  
ギドン・クレメール

Violin, Gidon Kremer  
©Horst Helmut Schmeck

ラトビアのリガ生まれ。4歳の頃から父と祖父よりヴァイオリンを習い始める。7才でリガの音楽学校に入学。16才でラトビア国内の音楽コンクールで優勝、その後モスクワ音楽院で巨匠ダヴィド・オイストラフに師事。1967年にエリザベト王妃国際コンクールに入賞し、その後バガニーニ国際コンクール、チャイコフスキー国際コンクールにて相次いで優勝。世界のトップ・ヴァイオリニストとしての地位を不動のものにしていった。バロックから現代作品までの広範なレパートリーを持つが、特にバルト三国、ロシア、東欧作品の発掘や演奏に熱意を傾けている。これまでに120枚を超えるアルバムを制作し、フランス・ディスク大賞、ドイツ・レコード大賞、日本レコード・アカデミー賞等多くの賞を受賞している。また、2016年には高松宮記念世界文化賞を受賞した。ヴァイオリンは1641年製の「ニコラ・アマティ」を愛用。



ピアノ  
リュカ・ドゥバルグ

Piano, Lucas Debargue  
©evgeny evtukhov

1990年生まれ、11歳でピアノを始める。リュエイク=マルメゾン音楽院でレナ・シェレフスカヤ教授と運命的な出会いを果たし、教授はドゥバルグの優れた才能と偉大な将来を確信し、パリのエコール・ノルマル音楽院の自身のクラスに入学させた。同時にパリ音楽院に入学の準備をし結果、全会一致で入学。エコール・ノルマルで学びながら、2014年アディリア・アリエヴァ国際ピアノ・コンクールで優勝。翌年にはチャイコフスキー国際ピアノ・コンクールに挑戦。優勝候補の筆頭とされながらも結果は4位入賞だったが、コンクール参加者憧れの「モスクワ音楽批評家協会特別賞」をただ一人受賞し称賛を集めた。以来、リサイタルやゲルギエフやフェドセエフ、ギドン・クレメール等の著名なオーケストラや室内楽の共演者として招かれている。ソニークラシカルとも専属契約を交わし、今秋早くも3枚目のCD（シューベルト、シマノフスキ）を発表する。



指揮  
徳永 二男

Conductor, Tsugio Tokunaga  
©K.Miura

人気、実力ともに日本を代表する演奏家。1968年、文化庁在外派遣研修生としてベルリンへ留学。長年、NHK交響楽団のソロ・コンサートマスターを務め、在籍時には、ケルンでの現代音楽祭、ベルリンの日独センター柿落とし公演、ニューヨークのカーネギーホールでの室内楽コンサートに出演して絶賛を博した。94年N響退団以降、ソロや室内楽で目覚ましい活躍を続けており、モントリオール響やイギリス室内管なども共演。92年から鎌倉芸術館ソリストを主宰。96年から宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て2011年からは音楽監督を務めている。

近年は指揮活動もスタートさせており、東京フィル、広島響、宮崎国際音楽祭管弦楽団などと共演。ブラームスのヴァイオリン・ソナタ全集、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全集などCDも多数リリースしている。本年、最新盤「タンゴ」をリリース。

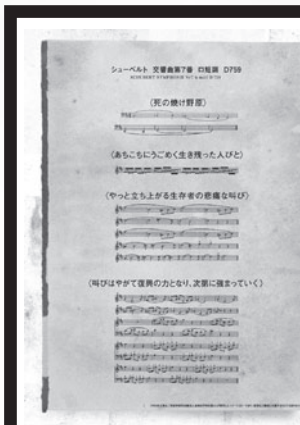
2016年度 文化庁長官表彰を受ける。桐朋学園大学特任教授。



共演  
クレメラータ・バルティカ

Kremerata Baltica  
©Alberts Linarts

1997年にギドン・クレメールが50歳の誕生記念に、バルト三国の若手奏者を集めて行った演奏会がきっかけで創設された。以降、世界50数か国、600以上の都市で1000回以上のコンサートを行い、世界最高の室内合奏団の一つとして高く評価されている。クレメールとの共演以外にもヨーヨー・マ、プレトニョフ、レービン、キーン、アルゲリッチ、サロネン、ラトルのような名だたるソリストや指揮者とも共演している。また、クレメールと共に数多くのCDを録音し、今までにエコー賞やグラミー賞、日本レコード・アカデミー賞を始め多くの賞を獲得している。2009年には「高松宮殿下記念世界文化賞」の第13回若手芸術家奨励制度対象団体に選ばれた。今年創立20周年である。



広島の復興はクラシック音楽と共にあった

# 昭和21年2月、 広島の「未完成」

あの日の思いを未来につなぎたい。



特定非営利活動法人  
音楽は平和を運ぶ  
広島市中区小町6-30  
Tel:082・247・8604  
<http://music-peace.jp>

音楽は平和

